

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	荒海共生プラザ		
指定管理者	荒海区共生施設管理組合		
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日	～ 平成 34 年 3 月 31 日	1 年目
施設所管課	空港部	空港対策課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	—
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	—	—
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられているか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A
	その他	健康ルームの機器について、定期的に点検を行っているか	A	A
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 20 項目・本施設 17 項目)	A		
指定管理者の自己評価	日報を作成し、月報・年報にとりまとめ適時報告している。報告を行う際には利用状況のみならず、各種事業などの報告を行い情報の共有化を図っている。			
施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。市との連絡調整については、毎月初旬に月報を提出する際に近況報告がある他、協議すべき事項については、必要に応じて連絡・報告等を密に行っている。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	—	—
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	—	—
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
	その他	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
		利用者に対して声掛けを行うなどしてコミュニケーションをとっているか	A	A
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 20 項目・本施設 17 項目)	A		

指定管理者総合評価シート

様式 4

評価	指定管理者の自己評価	日常的な利用だけではなくイベントを開催することによって、地区住民とのコミュニケーションを図った。
	施設所管課の評価	該当の評価項目については、良好に実施されている。親しみやすい施設となるようイベントを実施したり、季節ごとの植栽を行うことで初めての方々にも気持ちよく利用できるような施設づくりを行っている。

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	—	—
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 5 項目)	A		
指定管理者の自己評価	各支払証拠書類を保管し、適正な処理をした。			
施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。経理事務については、収支計算等を記載した各種帳簿の整備や監査を行うことで、適正な管理に努めている。			

評価項目	評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価	
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	コミュニケーションの場として、施設の利用推進に努める。	6,000名	A	A
	目標②				
	目標③				
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 1 項目・本施設 1 項目)	A		
指定管理者の自己評価	目標来館者数6,000人に対し、実績は6,907人で、およそ115%の達成率であった。				
施設所管課の評価	目標を大幅に達成し来館者数が過去最高を記録をしたことは、普段利用されている方々の口コミによって施設を利用される方が増えてきた結果であると判断できる。				

<b>V</b>	<b>【総合評価】</b>	I～IVの総括による総合評価	<b>A</b>
----------	---------------	----------------	----------

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	健康ルームの運用において、トレーニング主体の場だけでなく、プラザ本来の目的でもあるコミュニケーションの場としての活用に努め、全てのスタッフが業務に対し同じ認識を持っている。 また、質の高いサービスを提供できるよう研修に参加することで、市民が親しみやすい施設づくりを目指している。
	改善が望まれる点	市民にとって暖かみがあり親しみのある施設運営にご尽力いただいているので、引き続き地域に密着した運営をお願いしたい。